

## 内部統制の推進状況等

# 内部統制の推進状況(令和5年4月以降)

## 1 経営管理会議 4月13日ほか8回開催

〔 理事長が、重要事項について決定するとともに、業務遂行の取組状況を把握して必要に応じて指示を行い、その徹底を図るためのモニタリングを行うことを目的として設置 〕

### ○主な審議事項

- ・ 役職員の行動指針等の改正について(4月13日)
- ・ 事務所移転関係(移転先の決定について)(5月12日)
- ・ 事務所移転関係(建物賃貸借契約書(案)について)(6月5日)
- ・ 令和4年度業務実績等報告(案)について、第4期中期目標期間業務実績等報告書(案)について(6月12日)
- ・ 資金運用委員会関係(6月13日、14日)
- ・ 年金計理人意見書の提出について(6月14日)
- ・ 令和5年度第1四半期の運用結果等について(8月9日)
- ・ リスク管理に関するモニタリング(9月14日)

## 2 資金運用委員会 6月14日開催

〔 年金資産の管理・運用に関する重要事項を検討するために設置 〕

### ○主な審議事項

- ・ 令和4年度における運用状況等

## 3 リスク管理委員会 6月15日開催

〔 業務運営に関するリスクについて、リスク因子の把握、分類、定義付けを行い、各リスクの管理を計画的、効果的、有効に実施するために設置 〕

### ○主な審議事項

- ・ 「リスク管理項目及び対応方針等一覧」及び「リスク管理チェックシート兼リスク管理マニュアル」の調査・審議について

## 4 コンプライアンス委員会 9月14日開催

〔 役員及び職員の法令遵守及び業務の適正な執行等の徹底を図ることを目的として設置 〕

### ○主な審議事項

- ・ 令和5年度コンプライアンス推進計画の取組状況等

## 5 契約審査委員会 4月10日ほか4回開催

〔 基金における契約締結事務に関する事項を審査するために設置 〕

### ○主な審議事項

- ・ 特定調達契約に関すること、随意契約に関すること、総合評価・企画競争に関すること等

## 6 情報セキュリティ委員会 8月1日開催

〔 情報セキュリティポリシー等の審議を行う機能を持つ組織として設置 〕

### ○主な審議事項

- ・ 公的口座管理システム運用開始に伴う情報セキュリティ関係規程の改正について
- ・ 令和4年度情報セキュリティ監査(規程の準拠性監査)での助言事項への対

応について

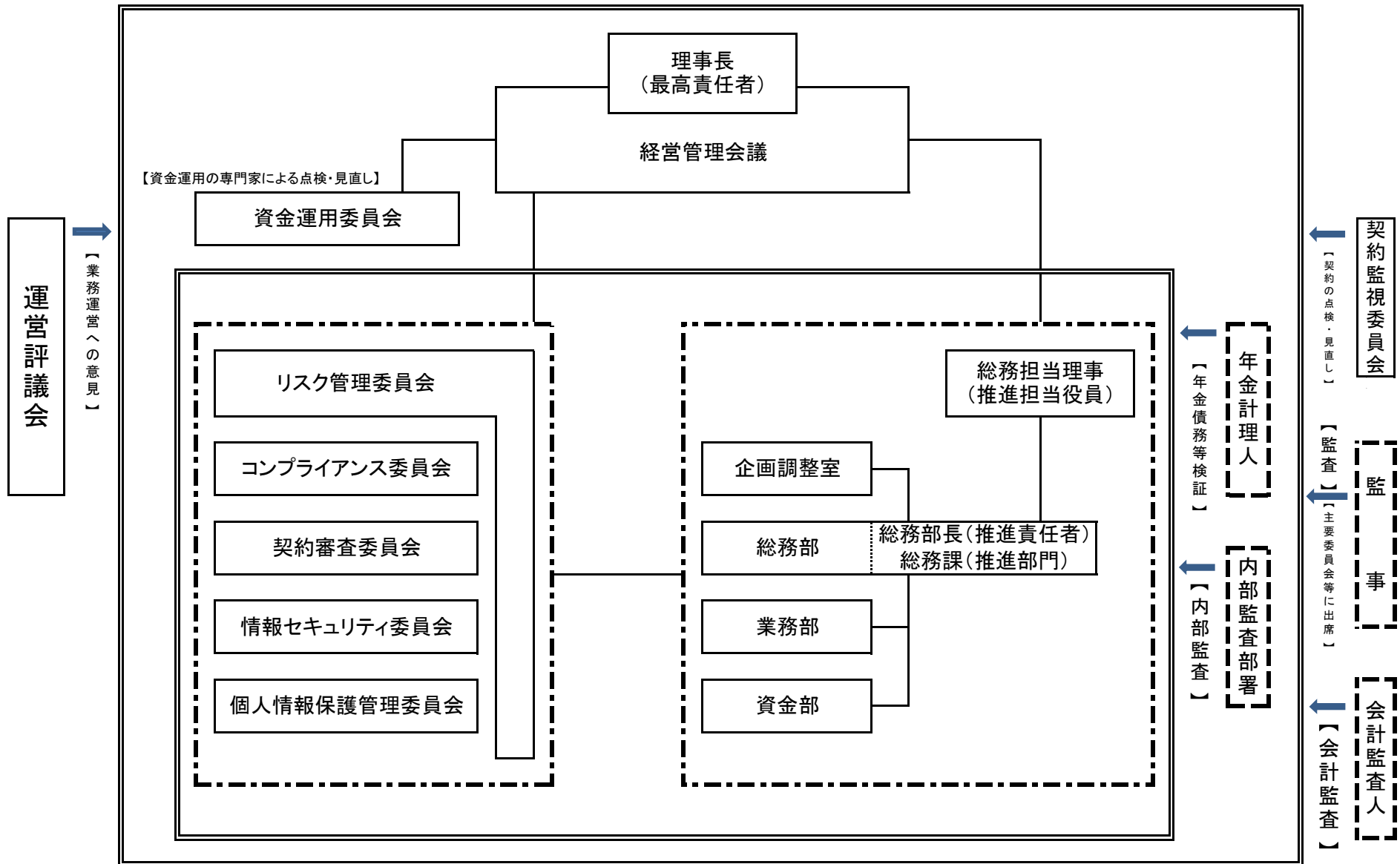
**7 個人情報保護管理委員会 8月1日開催**

〔 基金の保有個人情報の管理に関する重要事項の審議、決定、連絡・調整等を行うために設置 〕

○主な審議事項

- ・独立行政法人農業者年金基金における特定個人情報等の安全管理に関する基本方針の改正について

# 内部統制推進体制図



# 基金の財務状況

## 1. 令和4年度決算の概要

- 新制度では、運用収益の減少等に伴い、給付準備金の繰入額（対前期比）が減少。
  - ・ 給付準備金繰入額 35億3千4百万円（対前期 △101億9千7百万円）
  - ・ 給付準備金 3,844億3千6百万円（対前期 +35億3千4百万円）
  - ・ 資金運用における修正総合利回り △1.08%（対前期 △3.47%）
  - ・ 新年金受給権者数（令和4年度末時点）55,100人（対前期 +2,277人）
  - ・ 新年金給付費 66億4千9百万円（対前期 +5億2千8百万円）
- 旧制度では、受給権者数の減少に伴い、年金給付費は年々減少。その分、金融機関からの借入金の償還が進み、借入金総額も減少。
  - ・ 旧年金受給権者数（令和4年度末時点）223,084人（対前期 △22,580人）
  - ・ 旧年金給付費 652億4千2百万円（対前期 △58億6千3百万円）
  - ・ 長期借入金（流動+固定）1,738億円（対前期 △284億円）
- 第4期中期目標期間最終年度のため、運営費交付金債務を全額収益化し、第5期中期目標期間へ利益剰余金の繰越申請及び国庫納付を行った。

・ 運営費交付金精算収益化額	6億6千3百万円
・ 利益剰余金	39億8千6百万円
>繰越承認額	27億5千4百万円
>国庫納付額	12億3千2百万円

## 2. 令和5年度予算の概要

- 新制度のうち特例付加年金については、その財源として国から補助金が交付されている。本年度の予算額は、政策支援加入の見込み数の微減に伴い微減。
  - ・ 特例付加年金助成補助金 8億8千万円（対前期 △5千2百万円）
- 旧制度の年金給付費の財源としては、国からの負担金と金融機関からの借入金が充てられている。（借入金には、法律の規定に基づく政府保証が付されている。）  
旧年金給付費の見込み額は、年金受給者数の減少に伴い減少。
  - ・ 旧年金給付費 638億1千1百万円（対前期 △43億3千万円）
- 独立行政法人の事務費等のために国から交付される運営費交付金については、主務省から指示された中期目標で算定方法が定められており、特殊要因等を除き、前年度予算額からの削減率（業務委託費△1%、一般管理費△3%）が定められている。  
令和5年度の予算額は農業者年金基金事務所移転に要する経費等が認められたことにより対前年増。
  - ・ 運営費交付金 47億7百万円（対前期 +5億4千万円）注：令和6年度要求からの削減率は、業務委託費△3% 一般管理費△5% となる。

※ 主な計数は別紙のとおり。

## 1. 令和4年度決算のポイント

## (1) 貸借対照表

①資産	5,713億5千8百万円	(対前期 △267億7千万円)
・現金及び預金	301億6百万円	(対前期 △87億6千1百万円)
・有価証券	1,128億1千4百万円	(対前期 +107億9千5百万円)
・金銭信託	1,932億5千2百万円	(対前期 +22億4千3百万円)
・投資有価証券	582億1千3百万円	(対前期 △29億9千万円)
・未収財源措置予定額	1,738億円	(対前期 △284億円)
> 長期借入金残高の減少に伴う後年度国庫負担予定額の減		
②負債	5,673億7千2百万円	(対前期 △291億3千7百万円)
・長期借入金(流動+固定)	1,738億円	(対前期 △284億円)
・給付準備金	3,844億3千6百万円	(対前期 +35億3千4百万円)
> 保険料収入の増等に伴う給付原資準備金の増		
③純資産	39億8千6百万円	(対前期 +23億6千6百万円)

## (2) 損益計算書

①経常費用	858億7千6百万円	(対前期 △114億9千8百万円)
・年金事業費	820億2千1百万円	(対前期 △117億9百万円)
> 給付準備金繰入額	35億3千4百万円	(対前期 △101億9千7百万円)
> 年金給付費(新・旧制度合計)	718億9千1百万円	(対前期 △53億3千5百万円)
②経常収益	875億8千2百万円	(対前期 △102億4千7百万円)
・運用収益	17億4百万円	(対前期 △58億7千3百万円)
・補助金等収益、財源措置予定額収益	674億3千4百万円	(対前期 △48億1千3百万円)
③臨時利益	6億6千3百万円	(対前期 +6億6千3百万円)
・運営費交付金精算収益化額	6億6千3百万円	(対前期 +6億6千3百万円)
④当期総利益	24億4百万円	(対前期 +19億3千3百万円)

## 2. 令和5年度予算のポイント

## (1) 収入予算 2,049億4千万円 (対前期 +40億1千4百万円)

・運営費交付金収入	47億7百万円	(対前期 +5億4千万円)
・前年度からの繰越金	0円	(対前期 △7億3千2百万円)
・補助金収入	8億8千万円	(対前期 △5千2百万円)
・負担金収入	753億8千4百万円	(対前期 △197億7千3百万円)
・借入金	933億7千5百万円	(対前期 +230億5千5百万円)
・保険料収入	152億2百万円	(対前期 +3億1千万円)

## (2) 支出予算 1,947億6千6百万円 (対前期 +43億3千8百万円)

・新年金給付費	75億9千2百万円	(対前期 +6億2百万円)
・旧年金給付費	638億1千1百万円	(対前期 △43億3千万円)
・借入償還金	1,049億円	(対前期 +76億円)
・業務委託費	18億1千6百万円	(対前期 △2億2千6百万円)
・一般管理費	20億1百万円	(対前期 +1億2百万円)
・人件費	8億9千1百万円	(対前期 △6千7百万円)

※ 業務委託費、一般管理費、人件費支出予算の対前期については、前年度からの繰越金を含む。